

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所 つくしステップ		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 5日	～	令和8年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)
			17
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 5日	～	令和8年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)
			5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 17日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者様からは事業所の支援に満足いただいている。	・子どもたちの成長に合わせて積極的に新しい活動を取り入れたり、同じプログラムでも内容に変化を持たせる等して工夫している。 ・保護者様からの要望(利用日や送迎等)に柔軟に対応できるようにしている。	・子どもたちの意見を聞きながら活動に反映させていきたい。また、その活動の中で、楽しみながらどのような学びや経験を取得してもらいたいのか「ねらい」を定めて取り組みたい。 ・現状に満足せず、より質の高いサービス提供を目指し、保護者様との信頼関係を深めていきたい。
2	・日々、保護者様とはお子様の様子について情報伝達を行っている。	・連絡帳や送迎時にその日のお子様の様子を伝えている。また、連絡帳の文章では伝わりにくいことや、送迎時の時間で足りないときは電話を活用している。	・連絡帳についてはIT化を図る等しながら、より様子が分かるように工夫し、保護者様が楽しく見ていただいたり、コメントしやすくなるようにしていきたい。
3	・常時、職員一人ひとりのスキルアップを図っている。	・研修には積極的に参加し専門性を高めている。また、その内容の研修会を事業所内でも行い、他の職員にも伝えている。	・保護者様の事業所評価の中にあるように、職員が研修で学んだことを保護者様も参加できる研修会等にも活かしていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・環境整備が不十分。	・現在の事業所が賃貸物件であるため、大きなハード面の変更ができない。また、放課後等デイサービスは2階部分で階段があることが要因。	・建物自体も老朽化しているため、法人で新しい場所への移転計画はしている。その際には現在の不十分な点が改善された環境に整えていきたい。
2	・保護者様同士の交流機会の提供ができていない。	・さまざまな案を検討していたが、具体的な進め方や開催するために必要な人員が不足しており実現には至らなかった。	・多機能型を活かして、就労継続支援B型と協力して開催する等検討していきたい。
3	・人材不足。	・放課後等デイサービスであるため勤務時間が不規則で、子育て中の家庭(特に女性)は難しい時間帯。また、それにともなって資格必須であることも要因。	・勤務時間やサービス提供時間を見直していくことや仕事のやりがい、魅力も発信していき、この仕事に興味関心を持ってもらうことが必要である。